

有珠山の噴火事象分岐図

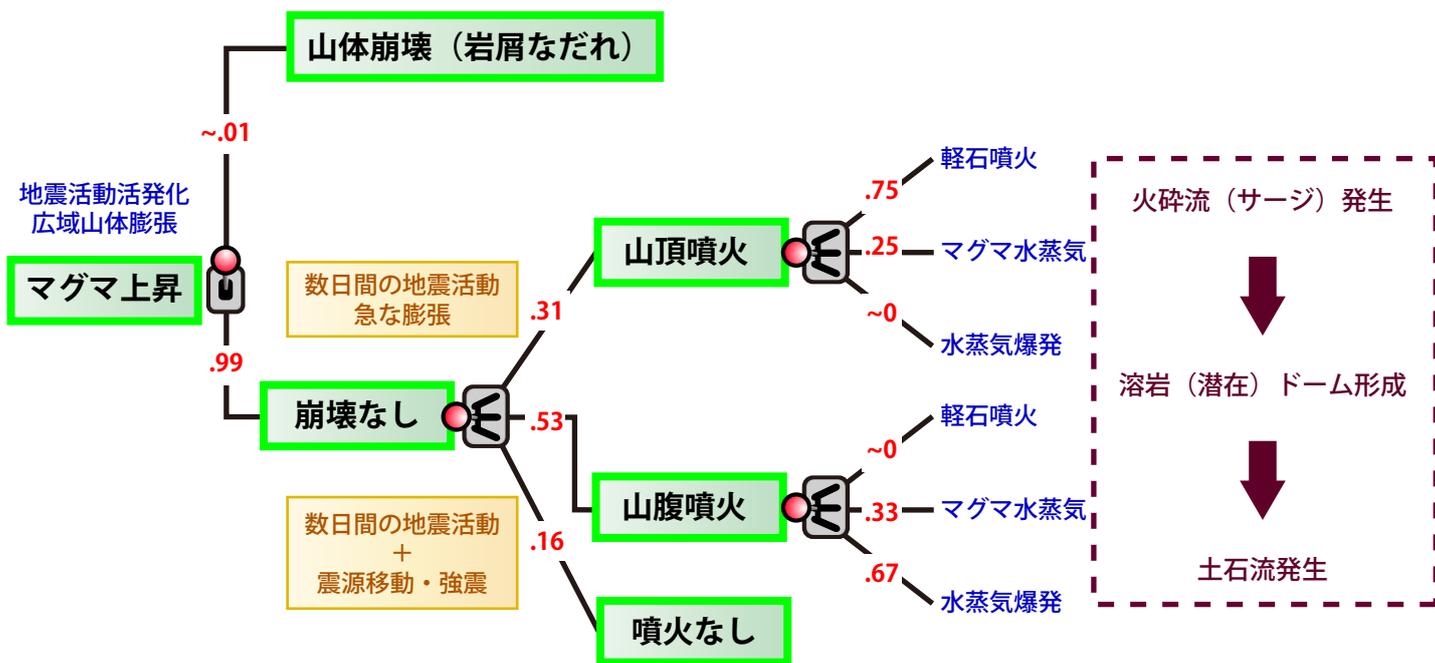


図6 (有珠山噴火シナリオ) 有珠山の噴火シナリオ(確度を付した噴火事象分岐図)。山頂噴火開始後は、火砕流(あるいは火砕サージ)の発生、溶岩ドーム形成、土石流の発生を伴う。山腹噴火についても同様であるが、溶岩ドームは潜在ドームとなる。

山頂噴火と山腹噴火の分岐と地震活動

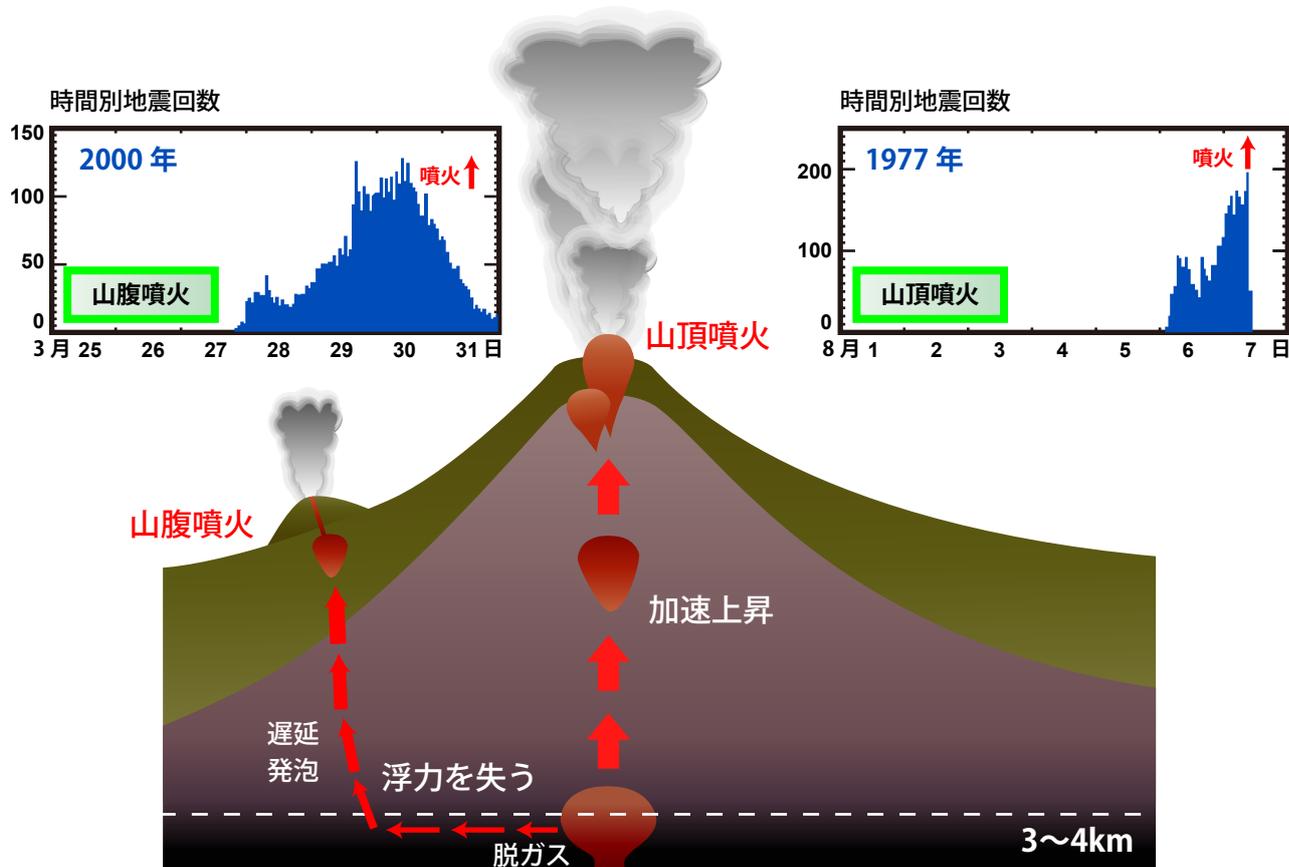


図7 (有珠山(山頂/山腹)噴火発生パターン) 有珠山の山頂噴火と山腹噴火の違いを示す解釈図。両噴火には発生場所や規模の違いのほか、地震の発生パターンに違いが見られる。山腹噴火では、脱ガスによってマグマが浮力を失い、横移動後に遅延発泡し、山腹から噴火を起す。その後、地下に潜在ドームが形成される。